

## 第 4 回 2018 年 7 月 6 日 (金)・7 月 7 日 (土)

第 4 回の一류塾は、都会の喧騒を離れ「中伊豆ワイナリーヒルズ」にて合宿研修を行いました。講師には一柳塾長と一流塾特別顧問の福川伸次氏（(一財)地球産業文化研究所顧問、東洋大学理事長、元通産産業事務次官）を、懇親会の特別ゲストには三屋裕子氏（(公財)日本バスケットボール協会会長、(公財)日本バレーボール協会評議員、スポーツプロデューサー）と野村忠宏氏（柔道家（オリンピック 3 連覇）、ミキハウス所属）をお迎えしました。また懇親会には、一流塾特別顧問の斉藤淳氏（(一社)日本野球機構会長 日本プロフェッショナル野球組織コミッショナー、(株)KKR ジャパン KKR Global Institute シニアフェロー、前(株)日本取引所グループ 取締役兼代表執行役グループ CEO）と、一流塾顧問の渡邊五郎氏（元三井物産(株) 副社長）にもご出席頂きました。



【講師 一柳塾長】

第 1 部では、『ベンチャー政治家 田中角榮論』と題して、一柳塾長が講義を行いました。一柳塾長は、没後 25 年経った今でも政治家として高く評価される田中角榮先生が通産大臣時代に秘書としてお仕えされており、当時の角榮先生のお言葉から学ばれたことを、教訓 5 カ条として話されました。「異なる三点から情報を取れ」や「まず、自分のアンサーを持って」などの 5 カ条はいずれも企業経営に通じるものがあることを、具体的にご説明されました。また、角榮先生が大蔵大臣になったとき、当初戸惑っていた高級エリート官僚を僅か 2 か月で魅了し虜にしたエピソードなどを示しながら、リーダーとして習得すべきことを提示し、角榮先生の優れた人脈作りとその秘訣をまとめた「角榮流 人脈作り 10 カ条」をご披露頂きました。塾生からは「塾長のリアリティあるお言葉で、角榮先生の人間力、人心掌握力の凄さがわかった」「大きな目標、世の中の流れ、仮説、部下への感謝と動機づけという物事を成し遂げるためのストーリーが非常に明瞭だった」「教訓 5 カ条はどれも経営者としてそのまま生かせることばかりで、すぐに実践したい」といった声があがりました。

第 2 部では、『世界が変わる、日本はどうする—歴史的な転換期に日本力再生の途を探る—』と題して福川氏が講義を行いました。前半では、福川氏ならではのご経験や卓越した情報収集力に基づく多角的分析に基づき、世界のガバナンス構造の変化やセキュリティリスク、市場リスクの増大などの世界情勢についてご説明頂きました。そして、日本が戦後の復興からなぜ現在の停滞過程に陥ったのかを的確に指摘されました。後半は、日本の強みと弱みを明確に示しながら、グローバルリズムにおける日本の役割とイノベーション力強化の必要性を「日本力(ジャパナビリティ)」の進化という持論に基づいてお話いただきました。最後には、これらを踏まえて「人間価値主導の社会」の実現という成長モデルをご紹介頂き講義を締めくくられました。政治・経済・文化の広範な領域にわたる福川氏の鋭くかつ明快な分析に、塾生から、「福川先生の情報量・知識量には改めて感服した。日本の立ち位置や強み弱み、どう戦っていけばいいかが理解できた」「産業と文化の融合は、自社の経営においても意識していこうと思った」「世界の中の日本の現状を踏まえ、次の価値創造をいかに追求していくかを考えていきたい」といった声が上がりました。



【講師 福川氏】

懇親会では、一柳塾長による開会の挨拶ならびに、渡邊氏から講話と乾杯のご発声を頂きました。渡邊氏は、インパクトと余韻のお話の共に、せつかくの人生をたく豊かに生きられよと塾生を激励されました。



【合宿の集合写真】



【一流塾顧問 渡邊氏による乾杯】

渡邊氏による乾杯に続き、特別ゲストの三屋氏から、『リーダーシップのヒント』と題して卓話を頂きました。三屋氏は、冒頭、世界を舞台に活躍するには、グローバルサイズの戦い方を知る必要があること、過去の成功体験は成長の阻害要因となり得るため、新しいことを取り入れて学び続けなければならないということを示されました。そして、リーダーは自らが部下をリスペクトすることが大切であり、部下が失敗したときには「なぜ」を考えさせて答えを引き出すことがリーダーの役割であるというコーチング技法についてもお話し頂きました。ご自身のご経験を交えた分かりやすいお話に、塾生は熱心に耳を傾けていました。



【特別ゲスト 三屋氏】



【特別ゲスト 野村氏】

三屋氏の卓話に続き、特別ゲストの野村氏が登壇し、『折れない心』と題して卓話を頂きました。野村氏からは、なかなか勝てなかった自分がどうやってオリンピックで金メダルを取れるまでになったか、オリンピック 3 連覇の裏にあった様々な葛藤、どん底を味わった自分をどう奮い立たせたのかなどについてお話し頂きました。また、負けや失敗はそれを活かしてこそ意味のある良い経験になるものだと言われました。そして最後に、自分で努力するとともに、支えてくれた周囲への感謝が何よりも重要だと語られました。まるで人生ドラマを聞いているようなお話に、塾生も引き込まれていました。



卓話後には、三屋氏と野村氏を囲んで記念撮影が行われました。

特別ゲストの卓話後に、斉藤氏から講話を頂戴しました。斉藤氏は、ミレニアル世代の価値観の違いや中国の技術力の進歩などに触れ、日本にいてだけでは世界の動きが見えにくくなる、一流塾でしっかり学び、それをグローバルな舞台上で生かしてほしいと塾生への期待を示されました。

その後、歓談を挟んで行われた塾生による 1 分間スピーチでは、一人ひとりがユーモアあふれる個性豊かなスピーチを披露し、会場は大いに盛り上がりました。



【一流塾特別顧問 斉藤氏】

懇親会の後は、一柳塾長と講師陣を囲んで 2 次会を行いました。一同、真面目な話から柔らかい話までお酒を飲みながら懇親し、またカラオケで一緒に盛り上がり、深夜まで講師陣や集まった仲間との絆を脱いだ交流により親睦を一層深めました。



【懇親会風景】



翌朝は、塾長と塾生有志が、当施設が誇るワイナリーを見学しました。一面に広がる葡萄畑の美しい景色は、塾生からも大好評でした。



【ワイナリー施設見学の模様】



【ワイナリーでの集合写真】